

なるせダムニュース

平成30年3月 第41号

成瀬ダム転流開始

成瀬ダムでは、平成30年度からダム本体建設工事への着手を予定しています。ダム本体工事に先立ち、成瀬川の流れを迂回させる“転流”が必要となります。そこで、川の水量が少なく、雪解けや雨による増水の影響が少ない時期に転流を行いました。

3月26日(月)に、仮排水トンネル呑口部において、佐々木東成瀬村長をはじめ、村議会議員、役場職員、なるせ保育園児、関係する施工業者、事務所スタッフなど総勢114名により、転流式が執り行われました。

転流式では、町屋事務所長、佐々木村長の挨拶の他、庄子副所長の号令で、仮排水トンネルを締め切っていた大型土のうが撤去され、赤川と北俣沢川の水は仮排水トンネルへと流れ出しました。

そして、転流を祝う“祝い舟”がなるせ保育園児らの手により流され、富田村議会議長の音頭により、参加者全員による万歳三唱で祝いました。

この“祝い舟”は、成瀬ダムの女性職員で構成されるチームCSGの手により、約1か月の製作期間をかけ、廃ペットボトルで作られ、なるせ保育園児により、折り紙などで祝い飾りが施されたものです。祝い舟は2艘作られ、“ゆめなるせ丸”と“ゆめせんにん丸”です。



町屋事務所長挨拶



佐々木村長挨拶



仮排水トンネルに流れていく祝い舟

その後、参加者全員により、転流を祝う水溶紙（水に溶ける紙）で作られた紙飛行機に、それぞれの想いを乗せ成瀬川に向け飛ばされました。

また、仮締切より下流側にとり残された魚を園児らの手により放流が行われました。

今後、下流側も締め切られ、ダム本体工事が始まることとなります。

数年後には、台形CSG型式のダムとしては、世界一の高さを誇る成瀬ダムがお目見えします。

成瀬ダム工事事務所は、皆さんと一緒に、地域の安全、安心のため早期のダム完成に向け工事を進めて参ります。

また、日々姿を変える工事の様子をご覧頂く見学会も予定しておりますので、ご参加をお待ちしております。



仮排水トンネルの前で記念撮影



庄子副所長による転流開始



お魚を放流：大きくなってね



転流を祝う紙飛行機をみんなで飛ばしました



仮排水トンネルの荒波にも負けない祝い舟



色とりどりの紙飛行機

平成30年度特別見学会予定

昨年度、東成瀬村産業祭で初めて、特別見学会を実施したところ、遠くは静岡県などからも参加頂き、多くの方に成瀬ダムや東成瀬村を知って頂くことができました。

平成30年度は、更に目に見える工事進捗が図られると思います。

そこで、季節ごとに、特別見学会を実施する予定です。

また、昨年度から、成瀬ダム工事事務所職員と東成瀬村職員による地域活性化に関する取り組みを開始しております。

その中では、仙人米のおにぎり付きの特別見学会(有料)などの案が出ております。

詳細については、今後も検討を進めて行くこととなりますが、ダムの見学だけではない五感で東成瀬村を味わう見学会となるよう考えている所です。



1回目：6月上旬 ダム見学と山菜まつり（新緑山菜まつり開催日に合わせて実施）

2回目：8月下旬 ダムナイトツアーと星空観察（初開催の夜間の現場見学）

3回目：10月下旬 ダム見学と東成瀬村産業祭（産業祭開催に合わせて実施）



平成29年10月特別見学会の様子



平成29年の夜間工事の様子

まるごと自然館へ成瀬ダムコーナー常設

3月1日から、まるごと自然館2階展示室（1）へ、成瀬ダムコーナーが常設されました。ダム周辺で撮影された貴重な動植物の写真や、昆虫標本などが展示されています。

また、昨年の産業祭でお目見えした、立体パズルも置かれていますので、ぜひお越しください。（近々祝い舟も展示する予定です。）

今後も、展示内容を追加していく予定です。お楽しみに。



展示の様子



季節ごとの動植物の写真や昆虫標本を展示

＊成瀬ダム チームCSG発足！＊

成瀬ダム工事事務所では、昨年12月に事務所女性職員で構成されるチームCSG(※)が発足しました。

主な活動は、成瀬ダムや東成瀬村の観光情報サイトで紹介していても、詳細までは掲載されていない名所や、是非知って欲しい穴場、皆さんが見てみたいと思っても安全上お見せできない場所、立入が制限される場所など、広く浅く、時には深く突っ込んでご紹介していく予定です。

これまでの活動としては、身体を張った2号トンネルでの発破などの取材や、転流式そして、転流式で使用する祝い舟の製作や、水溶紙で作った紙飛行機のデザインなどです。

今後、国道342号の冬期通行止め解除に向けた除雪作業の状況の他、成瀬ダム建設現場以外にも出没して行きたいと思っておりますので見かけた際は、お気軽にお声がけください。

事務所を飛び出し現場で体感したり、お話をお伺いしたり・・・



各種イベントに向けた製作活動を随時レポート！



東成瀬村のグルメも紹介しています() /

※：チームCSGとは・・・

Crew of Stroll on the Ground of higashinaruse village：東成瀬村の地をゆく集団

Crew of Strolling Girl in higashinaruse village：東成瀬村の散歩女子集団

など、成瀬ダムのダム型式であるCSG形式に由来したこじつけのチーム名

活動の様子は成瀬ダムHPにて公開中！



工事現場だより

●「成瀬ダム白岩小沢地区整備工事」の現場を紹介します。

成瀬ダム堤体（左岸）の基礎岩盤を出すために、堤体上部の法面掘削等を行う工事です。

工事では、省力化のため、ICT技術^(※1)を使って測量を行い、大規模な土工であるため、（掘削量約330,000m³）と大規模なため、3.2m³のバックホウ（通常のは0.8m³）や40t積みの重ダンプ^(※2)（道路で目にするのは10t積みダンプ）等、日常見る事が無い大型の重機を使用して進めています。

※1：ICT（Information and Communication Technology）情報通信技術の略で、国土交通省では、「ICTの全面的な活用」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上と、魅力ある建設現場を目指す取組であるi-Construction（アイ・コンストラクション）を進めています。
※2：重ダンプとは、最大積載量が11tを超え、一般道を走行できない車両を言います。ここで紹介している重ダンプは、アーティキュレートダンプと呼ばれる、articulate（間接でつながれた）ダンプで、車体の途中で中折れやねじれる構造であるため、不整地に強く小回りが効きます。



工事箇所（ダム堤体左岸側全景）



法面を掘削している状況



掘削した土砂の積込状況

現場代理人から、ひと言。

「成瀬ダム白岩小沢地区整備工事」
施工会社：大林組(株)東北支店

現場代理人
土橋 武夫



本工事は高所での大型機械を使用した掘削工事と法面保護工事また、河川際の仮締切り工事となります。河川などの環境に配慮し安全で快適な職場環境の形成を職員、協力会社がチーム一丸となって促進していきたいと考えております。工事期間中、地域の皆様には御迷惑をかけないよう最善の努力で進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

発行 国土交通省 成瀬ダム工事事務所 調査設計課

〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字宮田97-1
TEL 0182-23-8450(代表) FAX 0182-23-8449
URL <http://www.thr.mlit.go.jp/narusedam/>

成瀬ダム

検索

なるせダムニュースを担当しもう1年。4月からは、新体制になりますが、これからも、成瀬ダムの情報をお知らせして行きたいと思っています。引き続きよろしくお願いいたします。